

●今年も『共通テスト出願』の時期が来た！

共通テストについて学ぶ

— 3年生になる前に 基礎・基本を理解しておきたい —

今年も、いよいよ、1月に実施される「大学入学共通テスト」の出願手続きが始まりました。以下に説明する通り、共通テストは、大学入学を目指す全ての人にとって重要なテストですから、3年だけでなく1、2年生も、3年生になる前に、共通テストや大学入試に関する基礎的な知識をしっかりと身に付けておいてほしいと思います。

なお、1年生に関しては新教育課程の初年度の学年なので、受験科目や形式等が変更になると思われます。今後、発表される情報に注意してください。

特集1 「共通テスト」に関するQ & A

Q:「共通テスト」とはどのような試験ですか？



① 「共通テスト」はすべての受験生にとって重要

- 国公立大は必須 私立大も多くが『共通テスト利用方式』を採用
- 本校3年生では 約240人(9割)が受験予定

「大学入学共通テスト」は、2日間の日程で全国一斉に行われ、50万人以上が受験する大規模な試験です。国公立大入試の一次試験となります。さらに、私立大の多くが、共通テストの得点を合否判定に利用する入試方式を採用しています。それゆえ、すべての受験生にとって大事な試験です。

② 「思考力」・「読解力」等を試す出題「スピード」が必要

すべて「マークシート方式」の選択式です。過去のセンター試験以上に、文章やデータの「読解力」をはじめ、「思考力」・「判断力」が重視される出題になり、難易度が上がっています。また、問題量も多いため、時間内に解き終えるためには、かなりのスピードが要求されます。

③ 2日間で実施 1日目:社国英 2日目:理数

以下の表は、今年度の共通テストの時間割です。「地理歴史および公民」「理科②(「基礎」が付かない理科)」の2科目選択者の試験は、解答順に第1解答科目・第2解答科目に区分し、各60分で実施します。試験時間130分には、第1・第2解答科目間の答案回収等の時間を10分を含みます。

また、「英語」では、筆記試験の「リーディング」とは別の時間帯で実施される「リスニング」が必

須です。「ICプレーヤー」を自分で操作して、30分間のテストが実施されます。
なお、現1年生が受験する年には、新たに「情報」の教科が追加される予定です。

■ 2023年 大学入学共通テストの時間割 1/14(土)・15(日)

試験日	試験教科・科目		試験時間
1日目 1/14(土)	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 「倫理、政治・経済(倫政)」	【2科目選択】 9:30～11:40 【1科目選択】 10:40～11:40
		国語	13:00～14:20
	外国語	「英語」	①リーディング 15:10～16:30 ②リスニング 17:10～18:10
2日目 1/15(日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30
	数学①	「数学I」「数学I・数学A」	11:20～12:30
	数学②	「数学II」「数学II・数学B」	13:50～14:50
	理科②	「物理」「化学」 「生物」「地学」	【2科目選択】 15:40～17:50 【1科目選択】 16:50～17:50

■ 志望大学が指定する教科・科目を受験する

受験生は、志望大学が指定する教科・科目を選択して受験します。合否判定に用いる共通テストの教科数や指定教科(科目)は大学により異なります。

国公立大学では、「5教科7科目」を受験するのが一般的です。そして、各科目の選択は、個別学力試験(二次試験)に出願する大学が指定する科目から選択します。理科については特に注意が必要です。国公立大学の理系学部を志望するなら、「理科②2科目」(本校生は物理+化学または生物+化学)を、文系学部志望なら、「理科①基礎理科の2科目」を受験するのが基本です。(本校生の場合、2、3年の文型クラスの人には「生物基礎+化学基礎」です。1年生では、次年度以降に文型を選択する人は「生物基礎+地学基礎」になります。)

私立大学の「共通テスト利用方式」では、2～3教科が一般的ですが、大学により異なります。

■ 受験教科は出願時の『事前登録制』

受験教科の「事前登録制」になっています。出願時に、自分が受験する教科をあらかじめ登録します。各大学が受験を要求している教科・科目を受験していない場合、受験資格を失うことになるので要注意です。

Q:共通テストの成績は、すぐに確認ができますか？

A: 出願時に「成績開示請求」をすることは可能です。しかし、成績開示は次の年度になってから行われるので、共通テスト直後に、自分の本当の成績を確認することはできません。あくまで、受験直後の「自己採点」の結果を信じて、国公立大の二次出願や私大出願をするしかありません。

3年ぶりの実施 2学年「先輩講話」

3年ぶりに2学年を対象とした「先輩講話」を実施しました。県内外から7名の卒業生（大学3年生）を招き、3部構成で、大学生活や専攻している学問分野についてのお話を聴く会としました。2年生にとって、大変良い刺激となったのではないのでしょうか。

- | | | | | |
|-----|----------|---|-----|-----|
| ・日時 | 9月16日(金) | 5・6校時、放課後 | ・対象 | 2学年 |
| ・講師 | 7名 | 福島大学 行政政策学類 田母神和葉 さん
経済経営学類 佐藤 伶菜 さん
食農学類 辺見 将斗 さん
福島県立医科大学 看護学部 石井 愛美 さん
宮城教育大学 教育学部 笹島 彩音 さん
新潟大学 工学部 渡邊 捺央 さん
北海道教育大学函館校 教育学部 本田 遥夏 さん | | |

●第1部 全体会「卒業生パネルディスカッション」

卒業生の笹島さんに進行をまかせ、「大学での生活」をテーマにした7名でのパネルディスカッションを行いました。高校生活とは違った大学生活のおもしろさや、1人暮らしや自宅生のメリット・デメリット、サークル活動、生活費やアルバイトの話、今後に向けてのアドバイス等、先輩方の体験談などを交えて楽しくお話しをしてもらいました。



●第2部 分科会「卒業生による講話」

それぞれが専攻している「学問領域」などについて、具体的な実験・実習、講義、ゼミの内容などを交えながらお話しいただきました。各自が工夫を凝らしたスライドや動画等を使っての説明で、2年生にも分かりやすかったと思われます。

●第3部 放課後「卒業生との座談会」希望者

放課後、希望者が、自由に卒業生の話を聴ける機会を設けました。多くの2年生が、積極的に先輩方に質問をしていました。



〔2年生の感想より〕

- ・大学生の経済事情や一人暮らし、寮生活についてのリアルな大学生の生活を知ることができ、大学生活をイメージすることができた。
- ・一人暮らしや実家のメリット、デメリットについて聞くことができて参考になった。
- ・大学生活を通して、人との交流を増やしたり、思い出を作ったりするなど、充実した時間を過ごせると聞いて安心した。
- ・大学生活はやりたいことを妥協せず何でもできる期間なのでしっかり考えて、後悔しない大学生活にしたいと思った。
- ・一人暮らしをしてみたいと思っているけど、実際はお金の心配が想像以上に大きくて驚いた。寮生活の話も聞くことができて視野が広がった。
- ・バイトはお金を稼ぐだけでなく、将来のためのコミュニケーション能力を高めたり、目上の人との話し方が身につけたり、社会性を高めたりするなど、いろいろなことにつながるのだと思った。
- ・先輩方は受験前も、大学生である現在も、ずっと努力をしているということが伝わった。
- ・自分で講義を選択したり、豊富なサークルやゼミの中から自分のやりたいことに挑戦したり、決められた通りやるのではなく、自分から積極的に動かなければ何も始まらないのかなと思った。
- ・毎週3回ある英単語テストはいつも憂鬱だなと思っていたけど、こういう小さな積み重ねが大切なんだと実感した。
- ・「自分が何をしたいのか追求する」ことが大事なのだと気づかされた。
- ・自分が知らなかったことを多く知ることができ、大学へのモチベーションが上がったので、このまま受験まで保っていききたいと思った。
- ・大学生活に対しても、経済・経営学について学ぶこともすごく面白そうで、これからが楽しみになったし、勉強をもっと頑張ろうと思った。これからは、日本の経済状況やニュースなど、時代の流れに注目するようにしたい。
- ・ネットで調べた知識しかなかったの、実際の大学生活の話や質疑応答を通して多くのことを知ることができ良かった。
- ・座談会では、大学受験をどのように乗り越えたのかなど、自分が分からないことを聴けてもっと頑張ろうと思った。
- ・話を聴いて、少し自分も夢に近づけた感じが嬉しかった。
- ・今まで明確に決まっていなかった目標を決め、大学受験に向けて勉強のやる気を高める良い機会になった。



〔講師を務めてくれた7名の先輩方〕